

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ぱぐ			
○保護者評価実施期間	R7年3月1日 ～ R7年4月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	R7年3月1日 ～ R7年4月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理スタッフを配置し、週ごとに「心のテーマ」を子ども達に共有する時間を1日の支援時間内(はじめの会や帰りの会)などに設ける。	演劇の要素やダイナミックマインドトークを取り入れたスタッフから子ども達への関わり「心のテーマ」の説明(寸劇や話し方)でより子ども達に伝わるような工夫。	ご家庭でも実践出来るように情報発信や、ご家族に実際にレクチャー出来る機会を設ける。
2	1日の活動を動画にまとめた「Pug's Film」の作成と共有。	活動の様子や子ども達の様子がよりイメージできるよう、毎日連絡帳と共に動画を共有。	活動以外にもご家庭でも実践できる声掛けや情報共有を行えるよう編集により磨きをかける。
3	AIセラピストを用いて子ども達1人1人の課題に沿った支援プログラムの共有、実施。	集団活動が苦手な児童に対してや、個別のサポートが必要な場合など、臨機応変に遊びの中に支援が実施できるような工夫。	スタッフ全体で内容を共有、フィードバックし、より支援が充実するように改良を重ねる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族間のコミュニケーション機会の不足。	イベントなどの実施が出来ておらず、保護者同士のコミュニケーションがわずかになってしまっている。	イベントや情報共有の機会を作り、保護者同士のかわりを増やしていく。
2			
3			